

平成31年度 事業方針・強化方針・普及指導方針（案）

1. 2019年のテーマ 「ソフトテニスをお子たちに選んでもらえるスポーツに」
～「チャレンジ2025」着実な前進を～

2025年は、2回目の青森国体（改称：国民スポーツ大会）の開催年です。

2. 競技力向上に向けての対策

(1) 国体出場と得点獲得のための強化対策

- ① 「ふるさと」制度を活用した選手の起用
- ② 総合選手強化事業を活用した県外・県内強化合宿などの実施
- ③ 高体連等と連携した強化対策の実施

(2) 東北・東日本・全日本大会・国体等への選手および指導者の派遣

(3) 年間を通じた強化練習会の開催

3. 将来に向けた競技力向上対策・普及指導対策

(1) 将来に向けた競技力向上対策・普及指導対策を担う「普及指導委員会」の強化

- ① 普及指導長期計画の推進
- ② 実現可能な事業への具体的な取り組みの推進
- ③ 2025年の青森国体を見据えた取り組み（チャレンジ2025）

(2) ジュニア選手の育成

- ① 地域講習会の開催による指導方法の伝達とジュニアの育成(step1)
- ② U14を中心としたジュニアオープン大会の実施(step2)
- ③ 競技者育成PG東北北海道ブロックへの選手の派遣(step3)
- ④ 全国中学校大会・全日本小学生大会等への選手等の派遣
- ⑤ シングルス強化への取り組みの推進
- ⑥ ジュニアクラブの結成と育成
- ⑦ クラブチームへのコーチ指導者の派遣
- ⑧ ジュニア層への普及を目的とした「キッズアカデミー」の開催
- ⑨ ジュニア層の育成を目的としたショートテニス・ジュニアサーキットの開催

(3) 指導者の養成と資質の向上対策

- ① スポーツマンシップ教育の普及・啓蒙
- ② 選手育成に係る「一貫指導方針」による指導体系の確立
- ③ (公財)日体協公認スポーツ指導員の活用と指導法の共有化
- ④ 外部コーチ資格制度の検討
- ⑤ 指導者・コーチを対象とした指導者講習会の実施
- ⑥ 県外の著名な指導者等を招聘した講習会の実施
- ⑦ 指導者バンクへの指導者の登録と活用
- ⑧ 県外講習会等への指導者の派遣
- ⑨ 公認指導員資格者を対象とした講習会の継続実施

(4) 審判技術の向上と資格取得の促進

- ① 高校生への審判技術の向上と資格取得の促進

- ② 15歳未満のジュニア層の審判技術の向上と資格取得の促進
- ③ 部活動顧問・外部コーチ・父兄等への審判資格取得へ向けた取り組み
- ④ 1級公認審判員の養成
- (5) 日連主催大会に義務付けられる技術等級制度の資格取得の促進
 - ① 一般・高校生への技術等級制度の資格取得の促進
 - ② ジュニア層への「検定会」実施による技術等級制度の資格取得の促進
- (6) 地域別講習会 (Step 1) の実施
- (7) シングルスへの積極的な取り組みの実施
- (8) 県内全ての大会の「マナーアップキャンペーン」の実施
- (9) ソフトテニスの普及を重点に据えた「チャレンジ青森」を指導者講習会と併催に
- (10) 最新のトレーニング理論に基づく体力レベルの向上を目的とした「トレーニング合宿」の継続実施
- 4. 生涯スポーツへの取り組み
 - (1) シニア層の普及・振興
 - ① 第32回ねんりんピック 2019わかやま大会への派遣
 - ② 第21回あおもりシニア・フェスティバルの開催
 - (2) レディース層の普及・振興
 - (3) 第12回青森県スポーツ・レクリエーション祭の開催
 - (4) ソフトテニス週間の活用 (第15回ミックスタブルス大会の実施)
- 5. 公認スポーツ指導員や公認審判員養成と技術等級制度の導入拡大
 - (1) 公認スポーツ指導員資格取得者の活用と情報の共有化
 - (2) 社会人・レディース層への審判講習会の開催と資格取得の促進
 - (3) 日連主催大会に義務付けられる技術等級制度の資格取得の促進
 - (4) 1級公認審判員の養成
 - (5) 公認指導員上級指導員養成講習会の開催 (日本スポーツ協会補助)
- 6. 日本ソフトテニス連盟運用システムへの対応
 - (1) 会員登録者の拡大と登録期間の短縮、登録料納付システムへの対応
 - (2) 24年度から実施されている「大会申込システム」への継続対応
- 7. 広報活動の展開
 - (1) 公式ホームページを活用した広報の展開と会員サービスの向上
 - (2) 「Facebook」「理事長のページ」を活用した会員むけ情報伝達の迅速化
 - (3) 公式ホームページやFacebook、YouTube への積極広報の取り組み
 - (4) 大会記録の新聞掲載
 - (5) ソフトテニスマガジン、日本連盟ソフトテニス誌への大会記録投稿
- 8. 大会等における緊急事態への対処として、心肺蘇生方法の周知やAEDの携帯、熱中症等への対応の取り組み
- 9. 2019年度第46回全日本レディース個人戦大会の開催
- 10. 危機管理マニュアルの作成
- 11. 法人化の検討